

【展示フィールド】 生体展示室(サカナのへや)

【該当する学年】

小3

小4

小5

小6

中1

中2

中3

【展示の説明および学習内容（ねらい）】

- ☆ フィールド内をさらに、大型水槽、小型水槽、円型水槽の三区画に分けて展示を行っている。
 大型水槽では、大淀川の上流域、中流域、河口域の三水槽を用いて、それぞれの地域に棲息するサカナを展示しており、水槽内の石の大きさを変えたり、壁面に周囲の風景写真をプリントしたりすることで、川の流れについても学習できるようになっている。
 小型水槽では、大淀川流域に棲息する小型水生生物を展示しており、半円型水槽や底面観察水槽などを用いて、生物の筋肉の働きなども観察できるようになっている。
 円型水槽を中心に、海水に棲息する水生生物を展示することで、川と海とのつながりを考えることができるようにしている。
- ☆ 展示生体のメダカを用いて小学校5年の「動物の誕生」について学習することができ、指導者向けの授業力向上メダカ講座なども行っている。
 中学校2年の「動物の体のつくりと働き」において、ヒトデやイソギンチャク等の無脊椎動物と脊椎動物であるサカナとを実際に比較することができ、ヤマメの観察を通じた水流による刺激と反応や、ギンブナを題材とした単為生殖についての学習も一体的に行うことができる。
 毎週水曜日と日曜日の「さかなたちの食事タイム」や不定期開催の「ミニ講座」等で、サカナの給餌に解説を加えており、小学校6年の「生物と環境」や中学校3年の「自然と人間」で取り扱う食物連鎖や生態系についての理解を促進することができる。

【写真】



【大型水槽】



【円型水槽】



【小型水槽】

【学習指導要領】

エネルギー

粒子

生命

地球

学校種・学年	分野	内 容
小5年	内容B 生命 地球	(2)動物の誕生-ア-(ア)魚の雌雄、時間の経過と卵の変化
小6年		(3)生物と環境-ア-(ア)・(イ)生物と周囲の環境との関わり（水・空気）、食物に着目した生物間の関わり
中2年	第2分野	(1)いろいろな生物とその共通点-ア-(ア)・(イ)生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点
中3年		(3)生物の体のつくりと働き-ア-(ウ)⑦生命を維持する働き、⑧刺激と反応 (7)自然と人間-ア-(ア)⑦⑧自然界のつり合い、自然環境の調査と環境保全